

# CASBEE® 広島

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

## 評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)広島市南区西蟹屋1丁目研修施設新築工事	階数	地上7F 塔屋1F
建設地	広島県広島市南区西蟹屋1丁目243-10	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	600人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,650時間/年(想定値)
建物用途	事務所、集会所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年2月 予定	評価の実施日	2022年11月11日
敷地面積	946㎡	作成者	五洋建設(株) 中前 佐和子
建築面積	820㎡	確認日	2022年11月19日
延床面積	5,639㎡	確認者	五洋建設(株) 奥田 任



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.6**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ☆☆☆ 100%超: ☆☆☆

①参照値 100% (138 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 82% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の 80% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

④上記+ 80% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5.0

Q1 室内環境: 3.0

Q3 室外環境(敷地内): 3.2

LR1 エネルギー: 3.9

LR2 資源・マテリアル: 3.3

LR3 敷地外環境: 3.3

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Q のスコア = 3.2

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.7

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.2

**LR 環境負荷低減性** LR のスコア = 3.5

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

### 3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.3

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.7	スコア = 1.8	スコア = 3.2
<b>設計の計画上特段に配慮した事項</b> BPIm=0.75。// [BEIm]=0.75。// 節水マなどに加えて、節水型便器も採用している。 LGSとOAフロアを使用している。 / ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率80%。	<b>設計の計画上特段に配慮した事項</b> /	<b>設計の計画上特段に配慮した事項</b> 給水PEP(B)、排水VP(B)、給湯SUS(C)、Eは不使用。/ 電気・通信配線はさや管 (PF22)使用している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される